

平成19年10月5日

各位

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号



平成19年下期の金属製品の生産予定について

品目	単位	平成19年下期 生産予定	平成19年上期 生産実績見込	平成18年下期 生産実績
銅	t/期 (t/月)	311,800 (51,967)	307,800 (51,300)	306,700 (51,117)
硫酸	t/期 (t/月)	801,400 (133,567)	816,300 (136,050)	760,800 (126,800)
金	kg/期 (kg/月)	15,361 (2,560)	15,990 (2,665)	15,544 (2,591)
銀	t/期 (t/月)	158 (26)	162 (27)	165 (28)

以上

お問い合わせ先： パンパシフィック・銅株式会社
総務部 村山・小松崎
(TEL：03-3560-8600)

(付帯説明)

(1) 銅

上表は日鉱製錬(株)における銅生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における銅生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：18年下期実績	219,600 t	日比共同製錬：18年下期実績	87,100 t
19年上期見込	222,100 t	19年上期見込	85,700 t
19年下期予定	226,100 t	19年下期予定	85,700 t

平成19年度下期、日鉱製錬では対前期比約2%の増産を予定している。

日比共同製錬では、前期並みの生産を予定している。

(2) 硫酸

上表は日鉱製錬(株)における硫酸生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における硫酸生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：18年下期実績	533,000 t	日比共同製錬：18年下期実績	227,800 t
19年上期見込	620,800 t	19年上期見込	195,500 t
19年下期予定	573,400 t	19年下期予定	228,000 t

平成19年度下期、日鉱製錬では、定修を実施することから、対前期比約8%の減産を予定している。

日比共同製錬では、対前期比約17%の増産となる予定である。

(3) 金及び銀

上表は日鉱製錬(株)における金及び銀生産量(全量)を記載。

金については、原料調達状況に基づき、対前期比約4%の減産を予定している。

銀については、原料調達状況に基づき、対前期比約2%の減産を予定している。

以 上